

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年3月27日

事業所名：チャイルドケアハウス

アンケート期間：2023年2月10日～2023年3月3日

	チェック項目	はい	いいえ	該当しない	工夫している点や改善すべき点	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケア児をケアする時は奥の部屋を使うなど、工夫ができています。また、必要に応じてパーティションで仕切る事もできる ・人数によってはスペースを確保しづらいときもあるが、バギーの置き方や寝る子たちの配置を考えながらスペースは確保するようにはしている ・医療的ケアを必要とする小さな子どもが増えてきて、その子どもたちが座るイスやバギーがもう少し増えたら良いと思っているが、そうすると、スペースが狭くなってしまおうという問題がある 	バギーの対策としては、施設裏の倉庫を上手く活用しながら、フロアのスペースを有効に使用できるようにしていきます。使わなくなったバギーなどを寄付して下さる方もみえるため、活用していきます。
2	職員の配置数は適切であるか	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練士が増員するとサービス向上につながる。 	4月より新卒者を迎えるため、少しでも早く送迎の独り立ちが出来るように計画的に指導していきます。土日の勤務についても同様、機能訓練指導員を含め引き続き採用活動を進めていきます。
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ内のスペースもギリギリではあるが、寝転んでオムツ介助が出来る。フロアでのオムツ介助では、手作りの仕切りでプライバシーに配慮が出来る。ただ手洗い場が小さく洗い辛い事と、汚物用の洗い場が無い事は不便を感じる 	手洗い場と汚物用の洗い場については、今の手洗い場でも子ども達が上手く洗えるように、補助をしたり工夫をして使用していきます。汚物についてはバケツを利用するなどこちらも引き続き工夫をしていきます。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・営業中はジアイーノで空気清浄を行い、営業後の掃除は、フロア全体の掃除機かけ、ピーラックスでの床拭き、トイレの便器、床、手すりなどの拭き掃除、使用したタオル、シーツなどの洗濯を行い、食器については使用後洗剤で洗った後、ピーラックスへ10分以上漬けて殺菌している。食卓やおもちゃなども使用前の消毒も欠かさず行っている ・施設の使用年数も増えてきて、壁の汚れが目立ってきた 	これまでの清掃業務は引き続き継続をしていきます。壁などの老朽化については、様子を見ながら本社と検討の修繕を検討していきます。
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の1on1で、個別で次の取り組みを確認し、翌月にはそれに対する進捗状況の確認を行なっている。また全体では、毎月の定例MTGで課題や改善策を検討している 	1on1や定例MTGは引き続き行い、課題・改善策を検討していきます。
6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見により、改善が必要なところは出来る限りの工夫を話し合っており、改善に努めている ・毎月のミーティングで話し合いが行われている 	頂いたご意見はスタッフ全員でしっかり共有し、業務の改善に努めます。
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0		ホームページで公開しています。
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価について把握していなかった。今後、気にしていきたい 	今後、評価結果を職員間で周知し、業務改善につなげていきたい。

9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・内部、外部研修の実施を行なっている	内部・外部研修の内容については、スタッフで話し合いサービスの質の向上を目的に引き続き実施していきます。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	・多職種の意見を取り入れて行なっている ・いろいろな職種のスタッフがいるので、様々な視点からの分析ができている	今後も多職種で意見を出し合いながら、支援計画の作成を行います。
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	・6ヶ月ごとの確認はもちろん、状況の悪化あればその都度確認をしている	子ども達の成長を踏まえ、モニタリング月だけではなく、日々体調の変化には注意をし記録をしています。定期的に更新を行うことで、最新の状況を把握しています。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	・本人支援、家族支援、地域支援を常に意識しながら作成を行っている	本人支援、家族支援、地域支援を常に意識しながら作成を行っています。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	・6ヶ月毎の評価を怠らず、皆で課題や改善点を話し合っている	6ヶ月毎の評価を怠らず、皆で課題や改善点を話し合っています。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	・毎日の活動は月の予定表に沿って皆で協力しながら行なっている。月の制作については、発案者の指導の元皆で協力して行っている ・自分自身の業務もあり、決まった人が主に活動を立案してくれている。今後、加われる時は参加していきたい	職員間で色々な意見を出し合って立案しています。特に大きなイベント(外出イベント)については、ミーティングでも話し合い多くの職員の協力で実現できています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	・本やインターネットの情報を見ながら、マンネリ化しない様に、新しい物を取り入れ工夫している	子ども達が飽きないようにSNSや本からヒントをもらいながら、職員間で意見を出し合って決めています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	・多職種の意見を元に作成している	多職種の意見を元に作成しています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・昨日の児童の様子の振り返り、今日の児童についての確認を毎日行なっている	朝の申し送りにてその日の1日の流れを確認、子どもの状況を確認し、医療ケア児については看護師同士で役割分担を決め、ケアにあたっています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	・職員によって退社時間が違ったり、送迎の戻り時間も異なる為、行えていない。但し、特記事項などがある時はチームスなどを用いて、情報の共有は必ず行なっている	職員によって退社時間が違ったり、送迎の戻り時間も異なるため行えていません。ただし特記事項などがある時はチームスなどを用いて、情報の共有は必ず行なっています。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・医療ケア児は看護師により細かな詳細が記録されている。それ以外の児童についても、体調及び活動の内容を記載し、家族と共有し、振り返りなどにも活用できている	記録を取ると同時に、共有したい点・改善が必要な支援についてはチームスですぐに共有、周知しより良いサービスに繋げていけるようにしています。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	・成長に伴うADLの変化に注意している	月1回の事業所ミーティングにて職員間でモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っています。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	・主に責任者が参加しているが、必要に応じ看護師、機能訓練士も参加している	児童発達支援管理責任者とその子に合わせた職種の方が参加するように努めています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	1	0		これまでは機会がなかった為、今後は積極的に相談し連携を取っていきます。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0	・学校送迎の時など、細かく状態を確認している	児童と関連する医療機関や障害福祉、保育園などとは常に連携を取れる体制を取っていきます。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	0	0	・ご家族を通じての情報交換が難しい場合は、ご家族に許可を得て直接主治医に連絡を入れている	主治医の指示書を基にケアを行い、主治医の連絡先、緊急時対応は常に把握してケアにあたっています。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	・学校送迎の時など、細かく状態を確認している	常に送迎時に先生と情報共有をし、相互理解ができています。

26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	・学校送迎の時など、細かく状態を確認している	常に送迎時に先生と情報共有をし、相互理解ができています。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0		相談員さんとの関わりはあるものの専門機関との連携はできていないので、今後助言や研修を受ける機会があれば積極的に関わっていきます。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	0	・そのような機会がまったくないわけではないが、医療的ケア児についてはケアが多くなりがちで、なかなか交流の機会を作るのが難しい	企業内保育園の園児との交流をしています。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	2	0		参加できる時は、積極的に参加するようにしています。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・保護者との関係を良好に保つように、スタッフ全員が取り組んでいる	送迎時等に何か気になったことは伝えるように心がけ、保護者様からも状況聞くことで常に共通の理解を持つようコミュニケーションを大事にしています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	2	0		現在行っていないので、今後保護者様に対して支援を行っていきたくいです。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0		契約時に出来る限り丁寧に説明しています。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0		児童発達支援のガイドラインを基本としながら、ご家族様、支援に伴う関係各位の方々の情報や提案を踏まえた支援計画を作成し、ご説明をした上で同意を頂いています。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	・直接話すだけでなく、連絡帳やメール、または電話など、連絡方法をいくつも用意している	相談内容によっては、専門職から助言をいただき支援を行い、保護者様に適切な助言を伝えられるように努めています。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	0		現在は行っていないが、今後そのような機会を作っていきたくいです。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0		普段から相談しやすい関係作りに取り組み、申し出があった場合は、迅速に対応していきます。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・紙ベースの会報誌や活動予定表のほか、SNSでも発信している	インスタグラムやその他SNSを使って、活動の様子や空きの情報を定期的に発信しています。
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0		鍵のかかる書庫にしまい管理しています。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0		出来る限り、細かい事にも耳を傾け、丁寧に話しを伺う様になっています。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	0		地域住民を招待は行えていないが、地域の方への協力をいただいていたかみん狩りの活動をさせていただきました。色々な地域のお店に出かけ、顔を知っていただいています。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	0		職員間では、共有・周知できているが、今後は、保護者にもしっかり周知していきます。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0		定期的に職員間での話し合い、避難訓練はもちろん、外部(消防署の方)を呼んで、訓練を行っています。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	0		契約時に服薬やてんかん発作について確認し、周知している。服薬がある場合は、お薬依頼書をもらい看護師が管理を行っています。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0		職員間で共有し対応しています。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0		危険だと感じたことは、その場で共有したり、チームスに載せたり、次の日の申し送りにて周知するようにしています。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0		虐待防止について、年に1回研修を行い、子ども達に適した接し方で対応するよう心掛けています。

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	0	身体拘束については、年に1回研修を行い、やむを得ず身体拘束を行わないといけない児童についてはミーティングの場で共有し、記録にも残しています。また、全利用者の計画書に身体拘束について記載しています。
----	---	---	---	---	--

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。